〔第三種郵便物認可〕　昭和九年一月十九日　碧城新聞　〔金曜日〕　第三千九百二十七號　〔一〕

嬢逐北歐の冬を語る

ケイ・ワイ生

下

これもその時の思ひ出たにスキーを曳かせ、そのスがイプセンの芝居を見て夜キーの上に若い女を乗せて おそくホテルに歸り、ホテルの食堂で晩餐を攝つてゐた時、直ぐ隣のテーブルでは同じく晩餐を食つてゐた美い少女こそは、その年のサンモリツツ（スケート・オリムピック）世界選手權を獲得して歸つて來たノルウエー娘で氷上のバヴローヴアといはれたソーニヤ・ヘレンであつた。彼女はこの時僅か十七、八位で、父親や知合ひのものと一諸にホテルに食事に來てゐたのである。彼女たちは食事が濟むと明方の二時、三時頃まで皆踊り合つて、賑かな夜を過してゐたが、これを見たのもノルウエーの冬の美しい思ひ出の一つになつてゐる

×

それからスエーデンの冬の風景の一つとして今なほ頭にハッキリ殘つてゐることがある、スエーデンの首都ストックホルムは北歐のヴエニスと呼ばれてゐて、町を水が縱橫に圍んでゐるところである。冬になるとその水がすつかり凍つてしまつて非常に廣々とした大氷原になり、端から端まで一里は充分にある。その上を馬に乘つて縱橫無盡に駈けまわつてゐる若い人達がぐまれた土地であるとは感じたが、あの北歐で送つた數年の深い思ひ出に似たものは殆ど何物も得られなかつた。それだけにたゞ氣候がよいといふことと、樂しい思ひ出とは必ずしも同じでないとの感を强く持つてゐる譯である。（完）

嫁と姑

六

女子勞務者講習會

に於て

古河人事係長

前松佐嘉述

即ち嫁ぐ者の想像を頭に描き何か 理想を目標に進んで行くのであります、故に彼等は何時も『私が家を繼つたならば斯うしよう』とか『自分の世になつたならば斯う改めよう』とか言つて現在の生活環境を理想化するものであります。即ち、

×

その外、スエーデンのクリスマスの夜の極めて鄉土的色彩の豊かな風景であるとか、又除夜の晩の非常に印象的な岡の上の光景などは、何時までも私の記憶に殘つてゐるところで、他のボーナスに約束の服どきけり　武門
ボーナスにいさゝかふところし貯金帳　同
ボーナスの袋つんだる儀業所　茂堂
ボーナスの袋つみある驛長室　六花

潮聲視靜抄帳

ボーナスにその夜ヒテーデバートへ　欽一
ボーナスの半時苦となしにけり　芳月
十割のボーナスとあり卓を打つ　晩霞
それとなく語る賞與の話かな　香村子

（同八）

社會の今日

○

寒鴉一羽漂ひわたりけり　曲々

岬より入日にむかひうす〳〵と、青色の灯をあぐる燈臺　若山牧水

幕末神風組

講談

土生太郎作

（100）

高根秀浩畫

神風組（一）

御木本は、默々として歩までも構つてゐることはな出合つたら、渋野をバッサリ——』

『ねえ御前、俺あ何うしても癪でならねえから、今度こそ思つた、これが事實とすれば、同志の士氣をどんなに挫くか知れない。固い結團力が崩れて了ふやうな事になるかも知れぬ

（神風組の浮沈にかゝはる事だ）

藤七は何時になく眞面目に考へ込んだのであつた

御木本が事實、染香の脫脫ば努めねばならぬ、殊に目前に大事を控へて居る神風組だ今、同志の士氣がそうするやうな事があつたら、百日の說法屁一つ、それこそ一大事である

『ちげへねえ、飛んだ可愛らしい失戀者だ』

『あはゝゝゝゝゝ』

皆が笑ひ崩れただが、藤七だけは一緒に笑ふ氣にはなれなかつた（これは容易ならぬ事になつたぞ）

さう思つた、これが事實

廣告

刀劍研磨
白鞘調製
刀劍柄卷
刀劍買入
研師　翠光齋
主　船生四郎
平町十五丁目二六大町通り

美味で評判の
イワキサロン
平町電三五二

耳鼻咽喉科專門
平町田町七〇番地
山内醫院
醫學士　山内亨吉
入院隨意
病室完備

今流行の
福島音頭
東京音頭
昭和音頭
其他流行唄各種
金光堂時計店
電話一九五番

日本に唯一つ
魂の這入つた
東京工場聯盟の自轉車
指定販賣所
フタバ商會
平。新川町。橋際

診療時間　夜間
胃腸病科　内科
花柳病科　性病科　皮膚科
專門
松村醫院
胃腸病　性病
（平町南町電一〇七番）

淋藥界の最高權威
無効返金（二日間服効なき時は殘藥引替に全部返金す）
三りん膚　別府淋藥
一週間…赤箱—金五圓　黒箱—金參圓
世界の名湯別府温泉で名高い。岩里家の家傳秘藥は男女血ツミ、コシケ、淋病消渇に奇績的効果あり、どんな頑固な痲疾でも短時日に根治が出來且つ再發することなく注射や他藥で治らぬ諸賢は最後の藥として迷はず……名藥別府淋藥の御服用に依り幸福を得られん事を希望致します。
別府皮膚藥　金三十錢　金五十錢
天下の名湯別府温泉のラヂウム含有の精に各病醫院及醫學府の處方劑集め大成せる皮膚病特効藥であります、たむし、いんきん、みつむし、なまず、しらくも等其他皮膚病に卓効あり。
九州別府市鶴乃園　岩里天然堂
平町三丁目北裏通り
代理店　渡邊と
（特約店募集）

社員招聘
一、集金販賣係　五名
經驗の有無に不拘小學卒業以上
身元保證人アル廿二歳以上五十歳迄
一、見習社員　二名
小學卒業十六歳以上の男子
但シ會社住込ミ勤務
平町田町通り
シンガー裁縫機械會社支店

眼科專門
電車眼科
平町南町
電話七二番
診療時間　毎日　自午前八時　午後九時迄

産婦人科　花柳病科
午前宅診　午後往診　入院應需
井阪醫院
平町田町（元合津醫院跡）
電話五五九番

小兒科專門
附内科
志賀醫院
平白銀町十番地
（前伏見町長跡）
電話（呼出）六五〇番

貸切ノ御用命ハ
ゼヒ三井自動車部へ
電話六八五番
乘合は好間…合戸…澤渡方面行

外全科般
醫學博士　渡部義夫
内小兒科
女丶醫　渡部きい
平町田町大通り（電話二七七）
渡部外科
（入院應需）

貸切車御用の際は
是非電話六四〇番尼子タクシーへ御用命を御願申ます。
新車も購入致しました。
平町二丁目
尼子自動車部
電話六四〇番

内臟外科一般（入院隨意）
外科花柳病科
平町六丁目（橋際）
木村外科醫院
電話三〇九

飽迄反對を表明して けふ村長に善處方陳情
愈々六十二名の調印を纒めた 小島部落の平町併合阻止

平町の大都市計劃に關聯し明瞭な必然性を有する隣接部落の合併問題に關し近接の内郷村小島部落が右計劃は村の興亡に係る重大問題であるとし此程同字萬藏寺に大字會を開き實行委員を擧げた旨既報の如くであるが常設委員吉田伊三郎、佐藤三平、加藤丈失、山下千代吉の四氏は一昨十六日より昨十七日へ掛け全區民六十二名の調印を求め今十八日左記梗概の陳情書を沼田村長に提出し愈々猛運動を開始した

陳情書

我大字小島は國道に接し平町に最も接近せるも古來より職業、風俗、習慣等全然相異あり、都會の生活には我等は不馴にして一、二の好都合に於て有利なる點あらんも、その大部分は百損ありて一利なきこと自ら明なり、加ふるに近時炭鑛の開發と共にその害毒田畑に及ぼすこと大にして我等の疲弊その極なり、此等救濟の意味を以て鑛産税の町村委讓あり、依て幾分救濟の曙光を見得るに至る、從來簡易の生活を營むも滯納者不絶狀態なり然るに行政區劃の變更、都市計劃の區域萬々一にも實現せんか到底その費用の負擔に堪へず所謂都市計劃法の第一條は交通衞生、保安、經濟等永久に安寧を維持し、又は福利を增進する爲此等法の趣旨に相反する結果となるに到るべくと存じ候に付右の實施には絶對反對に有之候に付貴職に於て右事情御推察の上可然御處置相成度此段及陳情候也

學科合格約二割
平署の巡査試驗了る

濱通り巡査採用試驗は昨十七日午前中は算術、作文、午後から國語、地歷を行つて受驗者九十六名中十八名を篩ひ殘し直に口述試驗を行つたが學科の最優秀者は平町鎌田町寺門久雄君(二三)であると、尚出張中の片寄警部外二名は今朝歸廳、採否決定は來る二月未、三月一日教習所入りになるらしいと

第二校貧兒
合計二十一名
のは一人もない

平第二校では客臘中貧困兒童を調査したが結果左の如く合計二十一名で中にも遠藤清子(假名)さんの一家は舊藩士で目下帳書きを業とし、父は腦を病んで臥床、母は父の仕事を助けて僅かに糊口を凌ぎ加ふるに姉は病に倒れ、弟が一人ある有樣で、清子さんが級長を努め成績優秀な所から校長も適當な救濟方を考慮中だといふ

尋一―三、二年―七、三年―二、四年―二、五年―三、六年―三

尚は以上の内父のないものが八名、職業としては無職六名、日雇、行商六名その他であると

。。。貧兒救濟寄附。。。　南町鈴木誠造氏は貧困兒童にと金四圓を、又平町軍人分會では同じく金十二圓八十錢を何れも第二小學校へ寄附した

大体推薦を了る
卒業生賣り込みの 苦心を語る矢野平商校長

平商矢野校長は卒業期も迫つて來たので過般來卒業生就職運動に一段の努力を續けてゐるが三菱、マツダランプ、明治生命、三越、松坂屋、松屋等へ各二、三名が可能であり三炭鑛にも七八名の確定的推薦あり、生徒自ら決定したものもあつて就職希望二十三名共大体目星がつき殘るは町内各官衙商店の分丈けとの事右に就いて矢野校長は語る

どの生徒をどの會社に推薦したらいゝか、これを誤つたら兩方駄目になつてしまうし、三井、安田でも一人は貰ふといふ事だつたが此方から最優秀の者を向けても字が拙いといふので駄目になつた全く今の若いものは字が拙いよ、外の學校などでも四年、五年まで習字をやつてゐるのもあるし、我校でもやらうかと思ふどこの會社でも人物本位に試驗してゐる、生徒が良く出來てゐるならどこでも喜んで使つて呉れる卒業までには全部決めてしまひ度いがやはり五、六月頃までかゝるだらう未だ推薦丈けで確定した

作業を妨げぬやう
平。好間は夜間執行
廿日から郡下青訓査閲

福島聯隊區司令部の濱三郡下青訓査閲、本郡關係は來る二十日から左記日割で藤井勇中佐(平商劍道師範藤井一氏令兒)出張の下に執行されるが好間炭鑛は晝間作業の爲平と共に夜間査閲を行ふことになつた

二十日小川(小川、赤井第一、同第二)二十一日大野(大野第一、同第二平窪)二十三日草野(大浦、四倉、草野)二十四日夏井(夏井、神谷)二十五日平商(平、飯野)二十六日好間(好間第一同第二、内郷)二十七日箕輪(箕輪第一、同第二)二十八日湯本(湯本、磐崎)二十九日入遠野(入遠野上遠野)三十日田人(田人)三十一日勿來(川部勿來)二月一日錦(山田錦、植田)二日渡邊(泉渡邊)三日玉川(鹿島、玉川、小名濱)四日豐間(江名、豐間、高久)

夜襲から遭遇戰
平青訓で演習

平の査閲は前記の如く來二十四日來平の藤井中佐を招き同日午後八時から藤田司令長以下指揮の下に輕機二基の外小銃使用で總員百餘名を二分、城山、揚士に對峙して夜間演習を行ひ翌二十五日は午前八時から平商グラウンドに於て教練、手旗信號其他一通りの査閲を濟ました後第一校前から隨時松ケ岡公園を中心とした遭遇戰を展開する豫定であると

流感の脅威!
豐間校でも大狼狽
一昨現在罹病兒七十餘名

石城地方を脅威しつゝある流感は各地に多くの患者を續出して居り豐間校でも一昨十六日現在の缺席兒童が七十餘名の多きに達して益々猖獗の兆あるので目下豫防策を考慮中である

マスク品不足
流感で藥屋さん多忙

平町の藥屋さんでは羽が生えて飛ぶ樣なマスク好賣行きに何れも品不足に惱されて居る、右に就いて平町某藥店では語る

全國的流行の樣です、毎日東京の問屋に催促するのですが配給が小量なので直に賣れ切れてしまひます、學校當局が勸めて居る關係からか最も賣れ行きのよいのは小學生用の五錢均一もので一般には革製の二、三十錢ものが一番愛用されて居ます

井上縣議の爲に四辯護士を依願
昨日政友派町議から

平町色川工場敷地の特賣問題に關し贈賄側の色川勝三郎、佐藤三平兩氏と共に破産法三八〇條により昨曉來平刑務支所に起訴前の强制收容を受けた井上縣會議員の今後に關し政友派町議は昨十七日町會後二丁目の同派倶樂部に會合對策を協議の結果

佐々木龍若、關内正一、川崎文治の三氏を委員に擧げ直に千葉、安齊、大嶽、門傳四辯護士を依願し、尚は同夜九時東京より歸平の鈴木代議士を迎へ今後の情勢如何により東京からも磯部尚、鳩山秀夫の兩辯護士を煩はす事に決したと

。。。。。。校外監督協議。。。。。。　在平三中等校の校外生徒取締協議會は近く平商に開かれるが協議題其他目下各校で準備中

入營兵出發

左記五君は明後二十日入營のため明十九日夫々出發する

△午前九時―南町本間七五三吉、紺屋町松田一、材木町粟城富士夫(若松歩兵第二十九聯隊)△午前九時一分―大工町丹野勝榮、新川町國井正一、(千葉鐵道第一聯隊)

第一兒童歡送

濱松飛行第七聯隊入營の田町友部芳久君は今十八日平發午前十時四十一分で大谷訓導引率の平第一校尋五ノ三組生徒の見送りを受け出發した

。。。。横田備中君出發。。。。　岐阜飛行第一聯隊に入營の櫻町横田備中君は今十八日平發午前九時一分で出發した

泥水稼ぎを厭ひ服毒自殺を企つ
父の葬儀で歸宅中の娼妓

内郷村大字町田二五ノ三八光妹廣瀨ミツイ(三三)は十七日午後四時頃自宅でカルモチン三十錠を嚥下自殺を企てたが家人が發見未遂に終つた、同人は昨年より前借五百圓で東京淺草に於て娼妓稼業中去る六日來父の葬儀で歸郷中前途を悲觀して此の擧に出たものであると

産看婦募集

東北帝大醫學部附屬病院では東北六縣から看護婦五十名、産婆十名を募集する事になり本郡の採用第一次試驗は來る三月九日平町役場會議室で行はれるが願書締切りは今月末であると

。。。。農事講習生募集。。。。　縣農事試驗場講習生本郡の採用試驗は來月十九日より二十三日迄泉村に於て作物及農具に就いて執行する

平窪夜學督勵

平窪公民學校では舊臘來同村小學校に於て夜間二時間宛補習教授を行つて居るが最近では晝間匡救工事に出動して居る關係で毎晩の出席は在籍百五十名中僅か二十餘名の不成績なので井上校長は近く欠席生の家庭を訪問出席方法を講ずると

福は内豆撒き會
來月三日縣社で執行

石城福は内會の恒例節分豆撒き會は來月三日午後一時から縣社子鍬倉神社前で修祓祈禱祭終了後執行されるが例により金豆を拾つたものには福袋を贈ると、會費二十錢で歳男希望者は各區世話役宛申込まれたいと

。。。。第三校學藝會。。。。　今十八午後二時より小學藝會、童話會を開催した

艶罪黒白

◇宇津木そのさん。赤色リンチの登場人物だつたかなあ?それとも天國に結ぶ戀のヒロインだつたかなあ?◇どうも聞き覺えのある名前だ。と炭鑛の課長主任級などが首をひねるのも道理◇これなん迄い先達迄平町花柳界の豪華版として長い間婿名をうたはれ、之の妓の出ぬ宴會はさし身にツマを忘れた樣に間拔けてゐるとさへ云はれたお鯉れえさんの戸籍名ではある◇一妓去つて新田町の冬を知る、なんて散々センチになつた地方の粹士諸君はお鯉瀧昇り以來の消息が判らずすつかり憂うつになつて了つた折柄◇此程なにがし炭鑛のKさんに宛て青葉城下は東二番町のどうやら首席金權めいた名の家から再び馬を枕頭に進める事になつた旨の嬉しい通信があつたとやら

青年の死と聖愛
時代の推移と戀愛を觀る
○△生

F

これは短い詩で二人の男女が廢墟の中で逢ふ約束をする。そうして其所に待つてゐる愛人を豫想し乍ら黄昏の廢墟を眺めてその感想を述べる――この廢墟は昔偉大な王樣の宮殿の跡である、彼は西に東に、兵を繰出して戰爭に勝ち領土を掠め富を蓄積し黄金の王冠を樂しみ、また文化の花を咲かせ、殊にこの絶景を樂んだのである。だが今やその跡方も無い憐れな情景、それは永遠なる人生の至寶ではないからだ――之に反して『ラヴ イズ ベスト(愛は最善だ)』と。この最後の言葉を厨川白村氏が引出して戀愛至上主義と云ふ言葉に仕上げ立てたのである。

西洋にはもとより戀愛至上主義なる言葉はないのである

またブラウニングが『ラヴ イズ ベスト』と云ふ言葉を此の詩の結末としてゐるからと云つてそれ丈けでは以てブラウニングは戀愛至上主義を唱へたのだと見るのは間違ひであらう。英文學者であるストツプフオード、ブルグは云つた。『ブラウニングの詩には一般的に見てワアヅウオトスのそれのやうに、だがそれ程完全にではないが普通の意味に於ける戀歌なるものはない。『廢墟の中の愛』にしても、その末句であるラヴ イズ ベスト は單なる青春の愛ではない。それは一般的な意味の愛である、眞の戀歌は待殊の對象をもたねばならぬ』と、斯う云つて居る、のみならず此のラヴと云ふ英語は『愛』とも譯されるし『戀』とも譯される。ブラウニングのいつた『ラヴ イズ ベスト』と云ふのは戀愛は最善だ、至上だと云ふのではなく、一般的に於ける愛の至上を稱へたものと見るべきである

ブラウニングは有名なイギリス第一のいや世界第一の女詩人、エリザベス、バレツトと結婚したのであるが、そこに極めて詩的なロオマンスがあるのである、この女詩人は若い時に背骨を折つて歩くことが出來ず何時も床上に横つて生活してゐる不具者であつた

○――○

列車に煽られて入院手當中絶命
昨日綴驛信號手の危禍

内郷村綴驛信號手高木利德(三八)氏は昨十七日午後二時半頃作業中列車に煽られ右手切斷後頭部を强打し直ちに囑托平町酒井病院に入院したが同日午後六時ついに死亡したので今早朝平署から安藤刑事部長が現場に出張當時の狀況を詳細檢分する處あつた

。。。。飯野消防活動。。。。　飯野村消防組では去る十五日早朝より貯水池を掃除同日より二月末迄夜警を開始した

。。。落磐。。。　好間村小館古河炭鑛採炭夫金成勇藏(三八)は十八日午前十時半頃同坑第二斜坑内で作業中落磐の爲『救けて呉れェ』と叫んだきり聲が杜絶たので目下救助作業中であるが多分窒息したものらしい

。。。溺死。。。　川前村大字上桶賣字根本三〇農佐藤留三方雇人渡邊重信(三五)は十六日午前四時頃同家前堀端で洗顔中持病の癲癇を起し溺死し

相撲選手女を投ぐ

内郷村大字宮字峯根磐城炭鑛長屋二號の五坑夫鈴木幸七(三三)は舊臘三日力士選手とし日立鑛山に遠征の歸途午後九時頃同僚黒羽金治(三八)外二名と共に同村遠藤留吉方に至り女中影山あさのが煙草買ひの遣ひを拒んだに憤慨し同人を路上に投げつけ右前額部に全治三週間の傷害を負はせ一昨十六日平署に告訴された

。。。。平愛婦幹事會。。。。　今十八日午前九時からマルトモホールに開き八年度決算報告其他數件を協議した

極東情勢講演

平商校の商工研究會は今十八日午後七時から役場會議室で開催、既報の如く同校教官駒場中尉の『極東の情勢』と題する講演がある

内郷隔離舍 道路竣功

内郷隔離舍の道路は國道より約二丁狹小且つ急坂で患者の收容に非常な不便を感じてゐたが去る十四日より同村消防組全員の勞力に依り自動車の出入可能な程度に改修今十八日竣工した

。。隔離。。　平町長橋町三〇第一校一年生中井一理君(九)は昨十七日腸チブスと決定隔離されたので同校では直に教室の消毒をなした

。。モ中。。　岐阜縣惠那郡生れ吉田良雄(三〇)は東京の友を頼つて昨十七日平町を通行中モヒ中毒の爲町役場から醫療を惠まれ旅立つた

誤叱府

◇昨日平署で行はれた本縣巡査採用試驗問題中作文の『我が崇拜する偉人』に對しては西郷隆盛が斷然最大多數で次ぎが東郷大將それから松岡洋右が一人あつた、それから手紙の文『寒中見舞の文』には時節柄殆ど申し合せた樣に流感の問合せと之れが警戒を促したものが大部分だつたとある

内郷學校便り

。。。高坂校。。。　今十八日同學年打合會を開催

。。。第一校。。。　一昨十六日級長任命式を行つた

十九日

日出	六、四九	月出 前	九、〇五
日没	四、五四	月没 後	九、一三
滿潮 前	八、五五	干潮 前	一、三五
滿潮 後	八、五〇	干潮 後	一、五〇

舊十二月五日 金曜 庚寅 佛滅 除 牛宿
新一月十九日

▲一白の人　新計畫は見合せて定業に骨折るべき日なり▲二黒の人　元氣旺勢にて向ふ所敵なく勝利を博する日▲三碧の人　諸事愼重に畫策すれば成功の域に達すべし▲四綠の人　信望大に加はり重任を荷ひて實を全ふし得▲五黄の人　月光くもに遮らるゝも忽ちかう〳〵と輝くが如し▲六白の人　地の利は有れど未だ時を得ず計畫不利なり▲七赤の人　半途に障害の起り易き日普請開業後難あり▲八白の人　甘言を排け自信に向つて邁進する時は大吉▲九紫の人　諸事しやを愼しみ萬事を地味に處理するが安全

諸判定應需　東京市本郷區湯島四丁目五番地　高島易斷總本部　神宮館

磐城共濟病院　電話 六四一番 一二四番

内科 小兒科　院長 醫學博士 石山謙郎
產婦人科　副院長 醫學士 五十嵐雄二
外科 皮膚性病科 耳鼻咽喉科　部長 醫學士 有馬勇二郎
X光線科 物理療法科　醫學博士 石山謙郎　技術員 石山彥
藥局　藥局長 藥劑師 吉本孝平
衞生試驗所　獸醫 高後利雄　事務長 鈴木寶雄

△診療時刻 午前八時より午後五時迄

專門 一般内科
内科ハ何デモ診療致シマス
呼吸器病バカリデハアリマセン
平町南町六五(電話一八一番)
川井内科診療所
醫學士 川井重之
女醫 川井安子

平町田町 (電話五三一番)
高久病院
内科 外科 小兒科 耳鼻咽喉科 花柳病科 レントゲン科
醫學士 高久忠
新潟醫學士 赤羽精
藥劑士 佐竹[illegible]繼